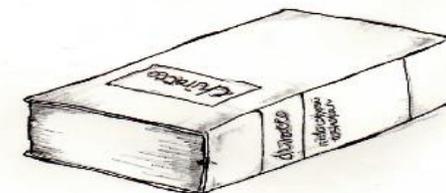




Chiratto Vol.2



シニア支援サービスをご存知ですか？

西東京市図書館では、通常のカテゴリに従った資料の配置をする以外にも、よりわかりやすく資料を手にとっていただけるよう、世代やテーマに沿った配置を行っています。

今回紹介するのは柳沢図書館にある、シニア支援コーナー。

入り口に入って右手のカウンター前を通った予約棚の目の前にある書架が、シニア支援コーナーです。

メインの書架は
さらに世代ごと・テーマごとに分類しています

ぱっと目に入ってくるのは、雑誌と新刊。
ノジュールやハルメク、ゆうゆうなどの
50代をターゲットにした雑誌の最新刊や、
その月に入った50代以上向けの
新刊本などを面置きしています。

⇒ノジュール
8月号



注)雑誌バックナンバーは、
奥の雑誌書架にあります。

実用書から、新しく始める趣味の本まで。
充実したセカンドライフを送るためのお手伝いを！
柳沢図書館でお待ちしております。

プレ・シニア世代

暮らし 定年 老後設計
親の介護 介護保険
健康 病気

古い 生きがい・趣味
小説・エッセイ 行政資料
その他

住まい 老人ホームなど 健康
高齢者ケア 介護 相続 病気
遺言 その後(終活)

シニア世代

※シニア支援コーナーにある資料は、図書館ホームページから一覧リストをご覧いただけます。

トップページ ➡ 成人サービスからのお知らせ ➡ 柳沢図書館「シニア支援コーナー」

目次

- ❖ 特集1：シニア支援サービスをご存知ですか？
- ❖ 特集2：雑誌で振り返る
オリンピックの競技種目
- ❖ 連載：「眠れる森の美本」
- ❖ FM西東京で紹介した本

雑誌で振り返る リオデジャネイロ・オリンピックの競技種目

リオ五輪、感動的な場面がいくつもありましたね！
テレビを見ていて、気になった競技や、選手もいたのではないのでしょうか。
一つのジャンルについて、より新しい情報を得ようとしたら、ネットもちろんですが、雑誌もおすすめです。
この特集では、西東京市図書館に所蔵するスポーツ雑誌で、五輪の種目になっているものをご紹介します。

『Sports Graphic Number (ナンバー)』

文藝春秋 隔週木曜日発行
メジャースポーツからマイナー
スポーツまで、スポーツの魅力を美
しい写真でお届けします。
所蔵館：中央、柳沢、ひばりが丘

『SWIMMING MAGAZINE (スイミングマガジン)』

ベースボールマガジン社 月刊
日本で唯一の水泳専門誌。初心
者から上級者まで。テレビでは知
ることのできない情報も掲載。
所蔵館：中央

水泳

『Rugby magazine(ラグ ビーマガジン)』

ベースボールマガジン社
月刊：ラグビーに関する情
報紙。最新号は男子セブン
ズ日本代表特集！
所蔵館：柳沢

ラグビー

『卓球王国』

卓球王国 月刊
最新情報満載！こだわりの
卓球情報誌。最新号ではリオ
五輪シングルス銅メダル水谷
選手を特集！
所蔵館：芝久保

卓球

そのほかにも…

『ゴルフダイジェスト』
リオ五輪から競技種目
になりましたね。

『月刊バレーボール』
日本のお家芸、復活な
るか。

『月刊サッカーマガジ
ン』『サッカーダイジェス
ト』サッカーはたくさん
の雑誌をご用意してい
ます。

『ランナーズ』
42.195kmの道のりは、
ここから。

第2回

眠れる森の美本

『チセ・ア・カラーアイヌ民家の復原
われら家をつくる』
(萱野 茂 未来社 1976.1 柳沢)

40年間民俗学の棚で出番を待っていました。失われつつあったアイヌの建築技術を保存するために、場所の選定から材料の確保、完成した家に神を祀るまで全てアイヌの伝統と作法に従って民家『チセ』を建築した様子を多数の写真とともに収めた貴重な記録です。著者の萱野茂氏は自身もアイヌの出身で、後に同民族初の国会議員となった人です。この本の本文もアイヌ語で記述したものに日本語の意識を添えています。

『Tennis Magazine(テニ スママガジン)』

ベースボールマガジン社 月刊
1970年創刊。最新号ではリ
オ五輪シングルス銅メダル錦
織圭選手のレポートあり。
所蔵館：柳沢、ひばり

テニス

図書館からのお知らせ

★利用者参加型企画展示募集中！★

図書館で「心に残る1冊」を展示しませ
んか？

書棚に並んでいる中から、好きな本を選んで
おすすめ理由とともに図書館に展示しま
す。本への思いをみんなで共有しましょう。
詳しくは、図書館カウンターまたはホームペ
ージをご覧ください。

F M西東京で紹介した本

『漂流の島』

高橋大輔／著 草思社 2016.5刊
★アホウドリの生息地として有名な鳥島は、江戸
時代に何人も日本人が漂着し命をつないだ地
でもあります。当時の記録から掘り起こし、実際に
鳥島を訪れて古地図を頼りに島内を探索し、江戸
の漂流者から明治の開拓者、昭和の測候所員が
避難場所とした洞窟を発見しています。★

『元素はどうしてできたのか』

櫻井博儀／著 PHP 研究所 2013.12刊
★「そもそも元素とは」から始まり、原子核が特に
安定する陽子や中性子の数である「魔法数」の新
たな発見や、最新の各国の元素合成の動きまで
を解説しています。「ニホニウム」を合成した理化学
研究所の森田チームの取り組みも詳しく紹介さ
れています。★

発行：西東京市図書館

<http://www.library.city.nishitokyo.lg.jp>